

## 学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	小学部、中学部、高等部
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講堂を活用した交流行事、イベント等に対する児童生徒、保護者、参加者の満足度</li> <li>・講堂（交流、研修等）の活用実績回数</li> </ul>
計画名	「なんば・なにわホール（仮称）」 すまいるプロジェクト事業

## 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>3. 児童生徒が、仲間とつながり、地域の人々とともに生きていく喜びを実感する</p> <p>(1) 本校の講堂（約1000席）等を活用し、地域（小中学校、高等学校等を含む）との交流の機会拡大を図る。</p> <p>ア 交流校の開拓及び内容を深める。交流校数を昨年度より増やす。（昨年度5校）。 具体的な内容として、文化的行事を交流及び共同学習の中核に位置づける。 参加児童生徒及び教員の肯定的評価を80%以上にする。</p> <p>ウ 地域の指導者を招き、地域の伝統的な皮革産業及び伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会を創出する。</p>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校講堂（市民ホールに匹敵する施設）を地域に愛される学校づくりのシンボリックな施設と位置付ける。</li> <li>・子どもたちが、全国的にも知られている地域の産業である皮革、太鼓を体感できる場、発信する場とする。</li> <li>・豊かな地域・他校交流の場とし、子どもたちが地域で自立した生活を送るための基盤づくりとする。</li> <li>・府立学校の共有財産として、研修会や合同説明会等に活用いただくことで、大阪府全体の教育活動に貢献する。</li> </ul> <p>* 満足度アンケート、活用回数等を成果指標とし、行事、年度ごとの検証をふまえ、活用内容等を深化させる。</p>
整備した 設備・物品(数量)	<p>講堂の整備及び環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台照明機器（老朽化により不安定な状況）の整備</li> </ul>
取組みの 主担・実施者	主担:教頭 実施者:首席2名
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年8月に基礎工事、11月に配電工事を完了。安定した照明設備を実現した。12月の「なんば・なにわ祭」では、各部の舞台発表において効果的な舞台照明を実現し、子どもたちの生き生きとした発表（笑顔発信）につなげることができた。</li> <li>・なにわ高等支援学校と難波支援学校の合同和太鼓演奏では、従来の2階のブース内ではなく、舞台そでに照明機器の操作盤を設置することで、音と光の操作性が格段に高まり、演奏をより効果的に演出することができた。</li> </ul>
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講堂活用交流校：4校</li> <li>・講堂活用行事 満足度：高等部アンケート結果 第1回 満足度76% 第2回 満足度86%</li> <li>・ホール名：「（仮称）すまいるホール」（次年度決定）</li> <li>・ホールの使用規定を検討（次年度決定）</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講堂活用交流校：4校（○）</li> <li>・講堂活用行事 満足度：高等部アンケート結果 第1回 満足度76% 第2回 満足度86%（◎）</li> <li>・ホール名：「（仮称）すまいるホール」（次年度決定）（○）</li> <li>・ホールの使用規定を検討（次年度決定）（△）</li> </ul>
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2度にわたる工事となり、11月に工事終了となったことから12月から新しい舞台照明を活用することとなった。「なんば・なにわ祭」では、満足度86%となっているように、照明の改修は期待以上に効果があり、舞台発表の充実に大きく貢献した。次年度には、本校以外の方にも活用機会を増やすよう活用規定等を定め、ホームページ等で発信したい。</li> </ul>